

健康日本21幸手計画（第4次）

- 基本理念 全ての市民が生涯を通じて健康で幸せに暮らせるまち
- 基本目標 健康寿命の延伸
- 基本方針 1 生活習慣（健康状態）の改善
- 施策 5) 歯・口腔の健康
- 施策の方向性 ①生涯を通じての歯科健診・健診の実施の促進

【取組内容】

定期的な歯科健診・検診や歯科保健指導の重要性について普及啓発を行います。
 歯周疾患検診、後期高齢者歯科検診などの受診率の向上を図るための啓発を行います。
 かかりつけ歯科医の定着を推進します。

②口腔ケアの推進

【取組内容】

正しい口腔ケアの習得を促進し、年代に応じた口腔ケアの正しい知識について普及啓発や情報提供の充実を図ります。
 年代に応じて、咀嚼の重要性、誤嚥性肺炎やオーラルケア等に関する知識の普及啓発に努めます。
 未就学児にフッ化物塗布をする習慣をつけるよう啓発します。

ライフステージ	特徴など	セルフケア	事業、内容等 【R7】 = 令和7年度新規または強化した取組 / 【R8】 = 令和8年度新規または強化する取組		担当など
乳幼児期	3歳頃には乳歯(20本)が生えそろう。 乳歯のむし歯予防が必要。	フッ化物配合歯みがき剤を用いた歯みがき	4か月児健診 10か月児健診	栄養講話時、乳歯のケアについて周知 【R7】 4か月：動画上映、お口の母子手帳配布 10か月：おやつ、むし歯予防	管理栄養士
			1歳6か月児健診 3歳5か月児健診	歯科健診 歯科保健指導 1歳6か月：磨き方、おやつ、むし歯のしやすいところ 3歳5か月：磨き方、おやつ、臼歯、指しゃぶりの影響、むし歯の放置の影響 【R7】 歯科健診要精密検査児の受診状況把握及び受診再勧奨	歯科医師 歯科衛生士
学齢期	6歳頃から中学校にかけて永久歯(28本)となる。生え始めの永久歯は虫歯になりやすい。 永久歯のむし歯の予防が必要。	フッ化物を用いた歯みがき	学校保健による取組	年に1回の歯科健診及び要精密検査児の受診勧奨 フッ化物洗口（吉田小、八代小、権現堂川小、東中）	
			「歯と口の健康週間」標語	市内小学校5、6年生を対象に標語を募集。 6月4日の虫歯予防デーから6月30日まで、及び健康福祉まつり時、ウェルス幸手に掲示。	保健師
成人期	義務的な歯科健診がなくなり、自己管理のみとなる。 詰め物の境目からのむし歯（二次う蝕）及び歯周炎の予防が必要。	フッ化物を用いた歯みがき	歯周疾患検診	歯科健診 歯科保健指導 対象：20・30・40・45・50・55・60・65・70歳 年5回（集団） 未受診者へ再勧奨ハガキ郵送 健診結果の裏面に「歯周病は全身の健康に影響します」 「正しい方法で歯を磨こう」を掲載 ※要精検率50%以上であり、未受診者フォロー実施できていない	歯科医師 歯科衛生士
			【R7】 妊婦歯科健診	歯科健診 歯科保健指導 対象：妊婦 歯周疾患検診にあわせて実施。妊婦用に妊娠期及び赤ちゃんの歯の健康に関するリーフレットを作成し、配布。 【R8】 妊娠届時、セルフプランのチェック項目に歯科健診を追加	歯科医師 歯科衛生士
			オンラインパパママ教室	幸手市HPに「お母さんと赤ちゃんの歯のお話」YouTube動画配信	歯科医師
			糖尿病性腎症重症化予防事業（歯科に係る取り組み）	<国民健康保険保健事業> 対象：糖尿病で受診中の方・糖尿病疑いの方 内容：歯科医療機関への受診勧奨の通知	協力歯科医療機関 委託先業者 国保保健事業担当
高齢期	むし歯や歯周病による歯の喪失の増加及び嚥下機能の低下による口腔機能の低下が起こりやすい。 むし歯、歯周病の予防とともに口腔機能低下（オーラルフレイル）予防が必要。	口腔機能の維持向上	口腔・栄養教室（R8新規）	<一般介護予防事業> 対象：一般高齢者、口腔フレイル該当者、 内容：（初回）①口腔フレイル講話②口腔機能チェック（1か月後）③栄養講話 （2か月後）④口腔講話、口腔機能チェック	①歯科医師 ②④歯科衛生士 ③管理栄養士
			歯つらつ健口教室（R7）	<一般介護予防事業> 対象：一般高齢者、口腔フレイル該当者 内容：口腔フレイルについての講話（歯科医師・歯科衛生士）、口腔機能チェック	歯科医師 歯科衛生士 保健師

ライフステージ	特徴など	セルフケア	事業、内容等 【R7】 = 令和7年度新規または強化した取組 / 【R8】 = 令和8年度新規または強化する取組		担当など
			健康長寿歯科健診	<後期高齢者保健事業> 対象：前年度75歳、80歳到達者 後期高齢者医療広域連合から埼玉県歯科医師会へ委託 個別健診方式 市は広報で周知を実施	歯科医師
			高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）口腔	<高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施> 対象：口腔アンケート返信者の口腔フレイル該当者 内容：対象者へ歯つつ健口教室への案内通知する。事業参加者は自身の口腔の状態把握やフレイル予防の実践を行う。	保健師
			通いの場等への積極的な関与	<高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施> 対象：高齢者健康体操グループ 内容：健康教育・健康相談、フレイル状態の把握（フレイル予防健康講話の実施）	歯科衛生士 保健師 管理栄養士
			フレイル測定会（R8新規）	<高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施> 対象：75歳以上 内容：口腔機能チェック、体組成測定、体力測定を実施	歯科衛生士 保健師 管理栄養士
			【R7】のみ事業 80歳お口の健康調査	対象：昭和20年生まれの市民 歯の本数及び口腔状態の調査	歯科医師 歯科衛生士 保健師・事務
全世代共通			【R7】4月1日 「幸手市歯科口腔保健の推進に関する条例」施行		
			「広報さって」「健康環境カレンダー」コラム掲載	健康日本21幸手計画コーナー等での啓発	保健師
			げんきアップメニュー「かみかみメニュー」の紹介	広報さって、市ホームページに噛み応えのある食材を使ったメニューを紹介し、噛む力の低下予防を啓発。	管理栄養士